

自立支援を目指して

～利用者の「したい」「できるようにになりたい」を大切にしたい支援を考える～

株式会社 シャカリハ

Social Re-Habilitation Design.inc (S.R.H.D.)

Chief Caremanager

KOJI MIURA

syakariha@gmail.com

自立支援のための思考プロセス

➡ アセスメント

① 情報収集：現状の正しい把握

② 課題分析：原因探求

ニーズ抽出

③ 本人の興味・関心チェック

④ ニーズの優先順位

➡ 「望む暮らし」の合意形成

➡ ケアプラン作成と役割分担

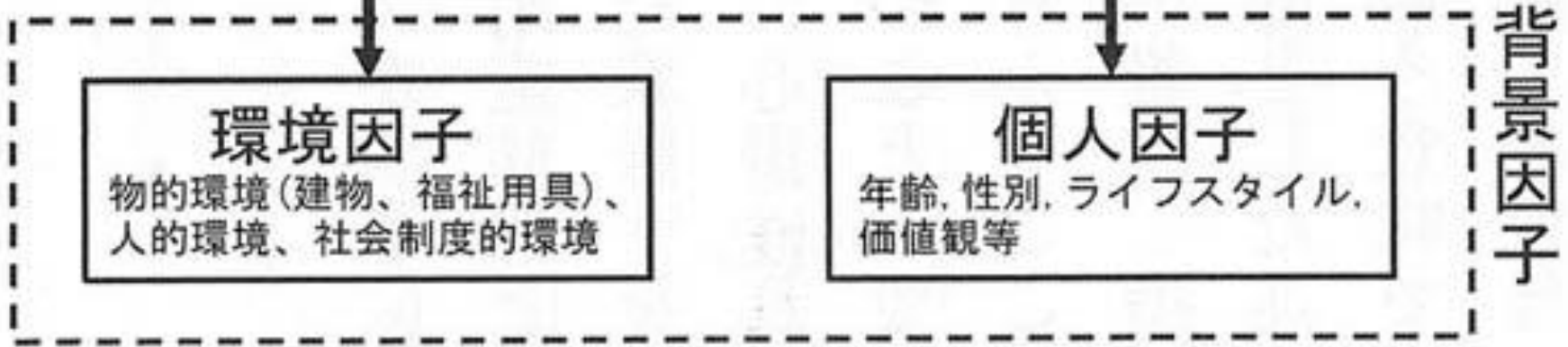
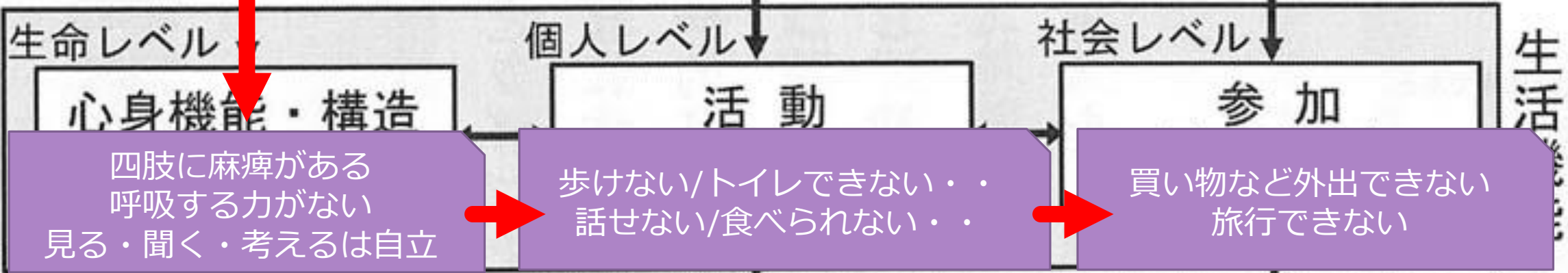
重要ポイント
〈レジュメP2〉

問題解決型から

課題解決型へ意識改革

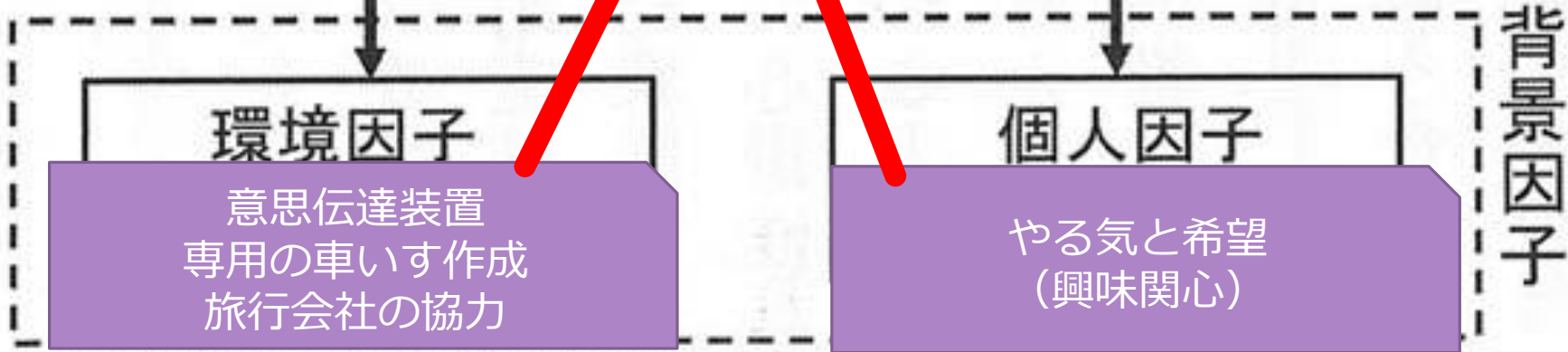
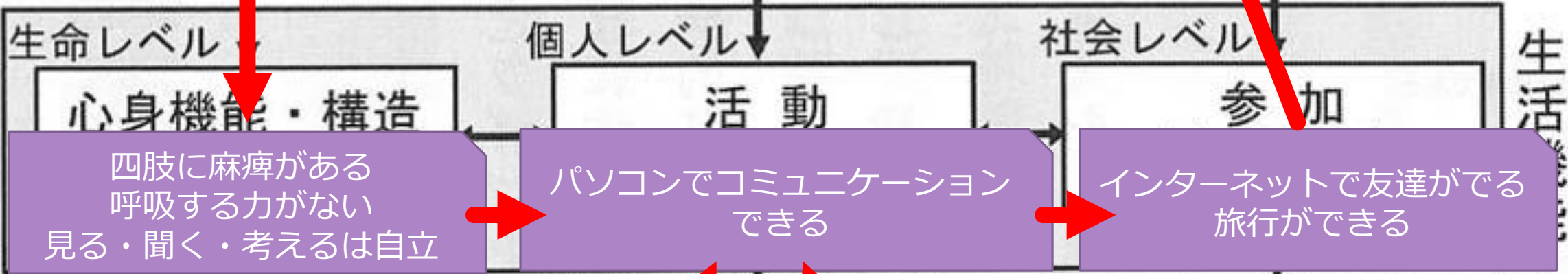
～「今」だけの支援から「これから」の支援へ～

暮らしをよくしたいですか？悪くしたいですか？





元気が出る



認知症の場合

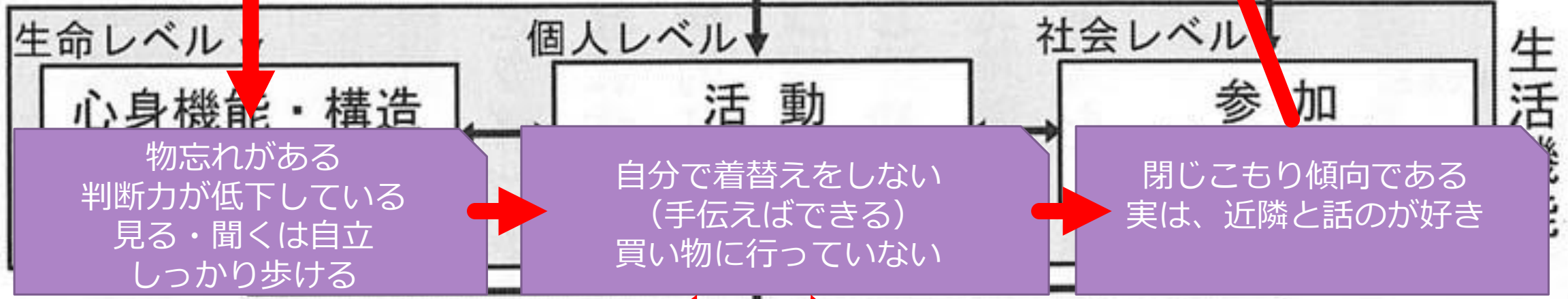




健康状態
病気、けが、妊娠

認知症・高血圧
体力がある

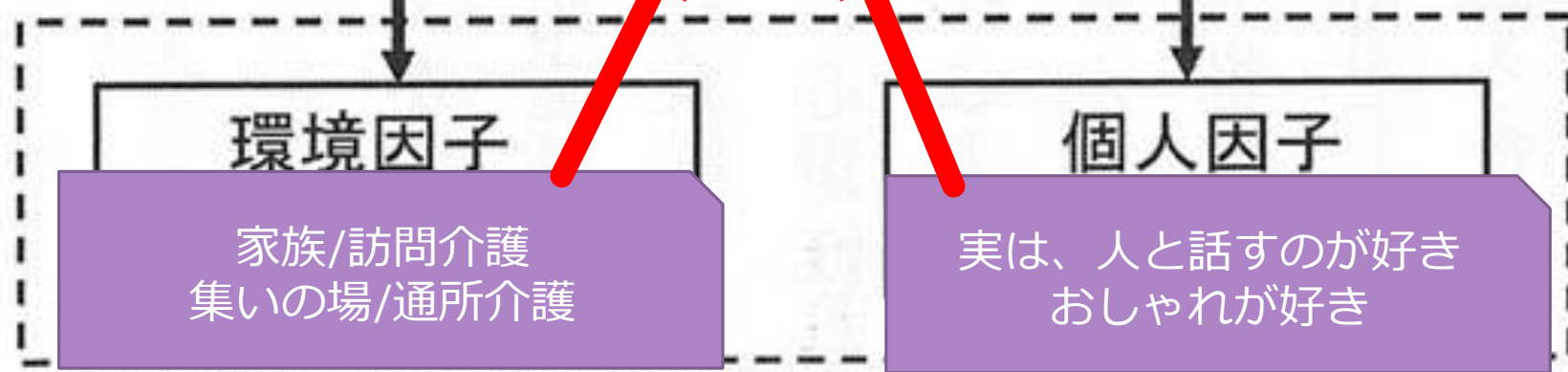
元気が出る



物忘れがある
判断力が低下している
見る・聞くは自立
しっかり歩ける

自分で着替えをしない
(手伝えばできる)
買い物に行っていない

閉じこもり傾向である
実は、近隣と話のが好き



家族/訪問介護
集いの場/通所介護

実は、人と話すのが好き
おしゃれが好き

まとめ

- ▶ 自己実現（望む暮らしの実現）が、その人の自立支援になる
- ▶ その人（対象者）によって、自立の意味合いが変わる
- ▶ 自立支援の目標は、状況によって変化する。ただ、その状態での自己実現の最大化（望む暮らしの実現）が自立支援の最大化となる。

自立支援とは、

『望む暮らし』の実現